

表1 留学生のプロフィール

(1) 出身国等・学年別回答者数

出身国等	学年						合計
	学部3年	学部4年	MC1年	MC2年	その他	無回答	
中華人民共和国	262	133	108	90	8	10	611
大韓民国	19	16	13	10	2	0	60
台湾	7	9	11	6	2	1	36
アメリカ合衆国	0	1	0	0	0	0	1
マレーシア	6	5	2	6	1	0	20
インドネシア共和国	1	0	4	7	0	0	12
ベトナム社会主義共和国	3	5	3	5	1	0	17
タイ王国	3	1	3	2	0	0	9
バングラデシュ人民共和国	2	0	2	4	0	0	8
ミャンマー連邦	1	4	0	2	1	0	8
その他	3	5	19	14	2	1	44
無回答	0	0	1	0	0	2	3
合計	307	179	166	146	17	14	829

(2) 年齢別回答者数

21～25歳	340
26～30歳	336
31～35歳	121
36歳以上	27
無回答	5
合計	829

(3) 性別回答者数

男	383
女	396
無回答	50
合計	829

(4) 学年別回答者数

学部3年	307
学部4年	179
MC1年	166
MC2年	146
その他	17
無回答	14
合計	829

(5) 在籍学部等別回答者数

人文	90
教育	34
法学	29
経済	144
商学	156
理学	3
工学(機械)	23
工学(電気)	46
工学(応物)	15
工学(化学)	14
工学(土木)	31
農学	14
医学・歯学	3
薬学	4
家政	5
芸術	12
体育	1
宗教	3
語学(言語)	25
国際	72
情報	60
環境	18
保健	3
福祉	16
無回答	8
合計	829

- (一) 内容
- (一) 留学生のプロフィール(表1)
- ・アジアを中心に二〇か国以上からの留学生が回答。中国出身者が六一一名(七三・七%)で最多。これに韓国(六〇名)、台湾(三六名)、マレーシア(二〇名)が続く。
  - ・学部等専攻別では経済、商学(経営学)を中心に文系が五四・六%、理系(理学・工学・農学)は一七・六%、以下、国際(八・七%)情報(七・二%)など。
- (二) 語学能力、学位、資格・免許の保有状況(表2)
- ・日本語能力試験一級合格者四五七名(五五%)をはじめ、六八%が日本語能力試験を受験している一方、英語についてはTOEIC受験者が一三・三%と低調で七三・

「外国人留学生の就職に関するアンケート」の集計結果について

あいち学生支援コンソーシアム  
日本学生支援機構名古屋支部

一 概要

(一) 経緯

あいち学生支援コンソーシアム(会長・平野真一名古屋大学総長)は、愛知県内の大学・大学院に在籍する外国人留学生のうち、卒業・修了後に日本の企業等への就職を希望する学生を対象に、就職支援事業を進めております。今回報告するアンケート結果は、この事業の一環として外国人留学生を対象に行ったもので、外国人留学生の就職に対する考え方や日本語や外国語の能力、就職活動の内容や今後への要望事項などについて平成一六年九月一日現

在で調査いたしました。

(二) 実施時期

平成一六年九月一日～一〇月一五日

(三) 対象者

県内の三八大学・大学院に在籍する外国人留学生 一、二七一名(学部の三、四年生及び大学院修士課程(又は博士課程前期課程)一、二年生)

(四) 回答者数・回収率

八二九名(回収率三六・五%)

表3 今後の進路

(1) 卒業後の予定

決定	419
未決定	392
無回答	18
合計	829

(2) 進路予定集計表

日本に残って働く	369
日本に残って研究・勉強	240
出身国に帰って働く	124
出身国に帰って研究・勉強	18
その他の国へ行って働く	3
その他の国へ行って研究・勉強	24
その他	15
無回答	36
合計	829

(3) 日本に残って働かない理由

あきらめた	114
日本に残って働く気なし	205
無回答	105
合計	424

(4) 日本で働くことをあきらめた理由

日本は不景気で外国人の就職は困難である	20
研究・勉学を続けたい	19
日本の生活習慣になじめない	12
語学・勉強不足のため日本で働く自信がない	9
就職に関する情報が少ない	4
その他	16
無回答	34
合計	114

四％が未受験。TOEIC六〇〇点以上取得者は七・四％。

(三) 今後の進路 (表3)

・「日本に残って働く」(三三六九名―四四・五％)「日本に残って研究・勉強」(二四〇名―二九％)の両者で七三・五％となり、引き続き日本での活動を希望する者が多く、三位の「出身国に帰って働く」(一二四名―一五％)を大きく上回る。

(四) 日本での就職に対する考え方

(三)で「日本に残って働く」と答えた三三六九名が対象

一方、日本に残って働く希望以外の者四二四名のうち、日本に残って働かない理由として「日本に残って働く気はない」と答えた二〇五名(四八・四％)とともに一一四名(二六・九％)が、就職の困難さや生活習慣になじめないことなどから「日本での就職を諦めた」と回答。

表2 留学生の語学能力、学位、資格・免許の保有状況

(1) 日本語能力 (日本語能力試験) 級別回答者数

1級	457
2級	88
3級	16
4級	4
未受験	237
無回答	27
合計	829

(2) その他の日本語能力を測る試験 (自由記載)

J.TEST実用日本語検定	12
ジェトロビジネス日本語能力テスト	6
日本留学試験	4
その他	27
合計	49

(3) 英語能力 (TOEIC) 得点別回答者数

860点以上	11
730～859点	24
600～729点	26
470～599点	31
469点以下	18
未受験	608
無回答	111
合計	829

(4) 英語能力 (TOEFL) 得点別回答者数

コンピュータベース	コンピュータベース以外	
250点以上	600点以上	16
213～249点	550～599点	19
173～212点	500～549点	14
133～172点	450～499点	6
132点以下	449点以下	2
	未受験	601
	無回答	171
	合計	829

(5) その他の英語能力を測る試験 (自由記載)

中国英検	22
実用英語技能検定 (英検)	8
ケンブリッジ英検	3
その他	22
合計	55

(6) 日本語、英語以外の語学能力を測る試験 (自由記載)

漢語水平考試 (HSK)	3
フランス語	2
ロシア語	2
その他	8
合計	15

(7) これまで取得した学位 (自由記載)

文学系学士	16	商学系学士	16	芸術系学士	6
文学系修士	4	商学系修士	5	芸術系修士	2
教育学系学士	4	商学系準学士	2	芸術系準学士	2
教育学系修士	3	理学系学士	10	語学系学士	9
教育学系準学士	1	工学系学士	40	国際系学士	5
法学系学士	6	工学系修士	3	情報科学系学士	3
法学系修士	1	工学系博士	1	その他	31
経済学系学士	11	工学系準学士	2	合計	192
経済学系修士	2	農学系学士	7		

(8) 現在保有している公的資格・免許 (自由記載)

普通自動車免許	247	簿記関係	9
自動二輪免許	37	医療関係 (医師・看護師・薬剤師等)	7
その他自動車関係免許	9	旅行関係 (通訳含む)	5
コンピュータ関係	31	その他	36
ビジネス・秘書関係	22	合計	417
教員免許関係	14		

表4 日本での就職に対する考え方

(1) 日本で就職する目的  
(複数回答可)

日本に住み続ける	32
資金など、経済的な理由	51
日本で勉強したことを活かす	199
キャリア形成、技術習得	252
母国と日本の架け橋となる	198
その他	6
無回答	3
合計	741

(2) 日本で就職した場合の  
希望勤務期間

3年未満	40
3～5年	120
6～9年	49
10年以上	51
現時点では分からない	105
無回答	4
合計	369

(3) 日本で10年未満勤務  
した後の進路希望  
(複数回答可)

出身国の日本企業に就職	141
出身国企業に就職	101
他国へ行き日本企業に就職	37
他国へ行きその国の企業に就職	11
その他	7
無回答	3
合計	300

(4) 希望する勤務地

愛知県	119
愛知県以外	7
こだわらない	240
無回答	3
合計	369

(5) 勤務地の希望理由

愛知県の生活に慣れたから	72
愛知県は経済が活性化しているから	20
愛知県は交通の便もよく住みやすい	11
関東圏で働きたい	3
その他	4
無回答	16
合計	126

(6) 日本国内で就職を希望する者の出身国等・希望業種別集計表 (複数回答可)

希望業種	出身国等	中華人民共和国	大韓民国	台湾	アメリカ合衆国	マレーシア	インドネシア共和国	ベトナム社会主義共和国	タイ王国	バングラデシュ人民共和国	ミャンマー連邦	その他	合計
自動車・航空機・船舶		135	5	2	0	3	3	1	2	2	2	3	158
機械・電機・電子		98	0	1	0	2	2	2	2	2	2	2	113
鉄鋼・金属		30	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	32
セラミック・ガラス		14	2	0	0	0	0	0	0	1	0	2	19
食品		58	1	0	0	1	2	0	1	1	0	2	66
繊維・アパレル		44	0	0	0	0	1	1	0	1	0	2	49
製紙		12	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	15
化学・医薬品		20	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	23
建設		30	0	0	0	1	2	0	0	1	0	1	35
電力・ガス・石油		17	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	22
情報処理・ソフトウェア		59	1	1	0	1	0	1	0	1	0	3	67
通信		61	1	1	0	1	0	0	1	2	0	5	72
マスコミ		35	9	0	0	0	1	0	1	1	0	2	49
運輸・倉庫		25	1	2	0	0	1	0	0	1	0	1	31
商社		177	5	5	0	3	0	0	0	1	1	2	194
百貨店・小売		33	2	4	0	0	0	0	0	2	1	0	42
金融・保険・証券		88	1	2	0	0	0	0	0	1	0	0	92
不動産		37	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	39
飲食店		21	2	1	0	2	0	0	1	1	1	1	30
ホテル		42	7	3	0	1	2	0	0	1	1	2	59
シンクタンク・調査研究		31	2	1	0	1	2	1	0	1	0	4	43
医療・福祉		24	4	0	0	0	0	1	0	2	0	0	31
教育・語学スクール		72	8	3	1	1	1	0	0	2	0	2	90
その他		19	4	1	0	0	0	0	0	0	0	2	26
無回答		2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
合計		1,184	57	30	1	17	19	7	9	29	8	39	1,400

(7) 日本国内で就職を希望する者の出身国等・希望業種別集計表 (複数回答可)

希望業種	出身国等	中華人民共和国	大韓民国	台湾	アメリカ合衆国	マレーシア	インドネシア共和国	ベトナム社会主義共和国	タイ王国	バングラデシュ人民共和国	ミャンマー連邦	その他	合計
経営・企画		118	3	4	0	2	1	1	1	2	2	3	137
財務・経理		51	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	55
法務		9	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	10
貿易事務		203	9	8	0	2	1	0	1	2	2	3	231
翻訳・通訳		180	13	4	1	1	1	1	2	2	1	3	209
人事・労務・能力開発		82	1	3	0	1	1	1	1	1	0	2	93
宣伝・広報		49	7	5	0	2	1	0	1	2	0	1	68
商品企画・マーケティング		82	7	6	0	1	0	1	0	2	2	1	102
研究・開発		53	6	1	0	1	4	1	0	1	1	7	75
設計技術		40	2	1	0	3	2	0	1	1	1	3	54
生産技術		35	1	0	0	1	3	1	0	1	2	3	47
生産管理		71	0	0	0	1	3	1	1	1	2	1	81
品質管理		46	1	2	0	0	3	1	1	1	0	1	56
建築土木設計・工事管理		11	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	14
システムエンジニア・プログラマー		14	0	1	0	2	0	0	1	1	0	2	21
営業・販売		61	1	2	0	2	0	0	0	3	2	1	72
融資・資産運用		27	2	2	0	0	0	0	0	1	1	0	33
経営コンサルタント		34	2	1	0	0	1	0	0	1	0	0	39
医療・福祉		18	4	0	0	0	0	1	0	1	0	0	24
その他		4	3	0	1	0	1	0	0	0	0	1	10
無回答		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計		1,189	62	41	2	20	22	9	10	26	17	34	1,432

(8) 就労ビザ取得

考えたことがある	241
あまり考えたことがない	106
全く考えたことがない	12
変更の必要性を知らなかった	6
無回答	4
合計	369

(9) 在留資格の変更

日本での就職の障害にならない	62
日本での就職の障害になる	82
分からない	94
無回答	3
合計	241

表5

(1) 日本での就職活動経験の有無

有	120
無	248
無回答	1
合計	369

(2) ①企業評価の面で重視する点 (複数回答可)

規模	56
成長力	205
将来性	273
安定性	125
出身国に貢献	119
技術力・企画力	102
社会貢献度	60
環境問題に積極的	68
企業戦略・ビジョン	93
知名度	51
職場の雰囲気	168
出身国に拠点	225
その他	6
無回答	4
合計	1,555

(2) ②処遇・勤務条件の面で重視する点 (複数回答可)

高給	187
休日・休暇	54
福利・教育・研修	213
勤務地	121
正当な評価	273
その他	5
無回答	6
合計	859

(2) ③仕事面で重視する点 (複数回答可)

専門知識・経験が活かせる	227
専門知識・技術の習得	228
やりたい仕事ができる	178
責任ある仕事ができる	139
人脈が広がる	139
出身国で働ける	159
その他	3
無回答	12
合計	1,085

日本での就職活動

(3) 就職活動に関する情報源・相談相手 (複数回答可)

	役に立っている	今後の充実に期待
人材会社等による情報・イベント	404	355
企業からの情報・セミナー	506	491
大学からの情報・支援システム	461	572
その他	208	256
合計	1,579	1,674

(3) ①人材会社等による情報・イベント (複数回答可)

	役に立っている	今後の充実に期待
Web上の情報	181	103
就職情報誌	99	120
就職イベント	124	132
合計	404	355

(3) ②企業からの情報・セミナー (複数回答可)

	役に立っている	今後の充実に期待
ホームページ	160	82
パンフレット	107	105
企業説明会	117	119
留学生採用情報	122	185
合計	506	491

(3) ③大学からの情報・支援システム (複数回答可)

	役に立っている	今後の充実に期待
指導教員による指導	144	115
就職課職員による指導	112	149
就職課の資料・ホームページ	98	139
留学生担当課・教員による指導	107	169
合計	461	572

(3) ④その他 (複数回答可)

	役に立っている	今後の充実に期待
友人・知人からの情報	159	93
ハローワーク等	47	151
その他	2	12
合計	208	256

①就職の目的、勤務を希望する期間

・日本での就職する目的として「賃金など経済的な理由」をあげた者は少数(五二名・六・九%)で、「キャリア形成、技術の習得」(二五二名・三四・〇%)「日本で勉強したことを活かす」(母国と日本の架け橋となる)「それぞれ一九九名、一九八名・五三・六%」が主流。「日本に住み続けるため」は四・三%。

・日本での就職後の勤務希望期間は三〜五年が最も多く二二〇名(三一・五%)。以下、一〇年以上(五一名)六一九年(四九名)三年未満(四〇名)の順で、比較的短期間の希望が多い。ただし、勤務希望期間が一〇年未満の二〇九名にその後の進路希望を尋ねると「出身国へ帰り日本企業の海外法人の社員となる」が一四二名と最多で、「出身国へ帰り、出身国企業に就職する」の一〇一名を上回る。

②就職を希望する業種、職種 (複数回答可)

・日本国内での就職希望業種は、商社(一九四名)自動車・航空機・船舶(二五八名)機械・電機・電子(一一三名)が上位。以下、金融関係(九二名)教育・語学ス

ール(九〇名)通信(七二名)情報処理・ソフトウェア(六七名)食品(六六名)ホテル(五九名)の順。・就職希望職種は貿易事務(三三二名)翻訳・通訳(二〇九名)が群を抜き、以下は経営企画(一三七名)商品企画・マーケティング(二〇二名)人事関連(九三名)生産管理(八一一名)研究・開発(七五名)の順。③就労ビザの取得

・卒業修了後に日本で働く場合に必要なる留資格の変更(就労ビザ取得)について、八二名(三四%)が在留資格の変更の難しさが「日本での就職の障害になる」と回答。

(五) 日本での就職活動(表5)

①企業を選ぶ際に重視する点

・企業を選ぶ際に重視する点【企業評価面】は、「将来性」(二七三名)「成長力」(二〇五名)「職場の雰囲気」(一六八名)などのほか、「出身国に拠点がある」(二二五名)「出身国に貢献している」(一一九名)が上位。【処遇・勤務条件面】では、「高い給与・処遇が受けられる」(二八七名)「福利厚生や教育・研修制度が充実

②就職活動の役に立つもの、今後充実を望むもの  
 ・現在、就職活動の役に立っている情報源として「企業からの情報・セミナー」（五〇六名）「大学からの情報・支援システム」（四六一名）「人材紹介会社等による情報・イベント」（四〇四名）をあげる者が多いが、その中で今後の充実を期待するものとしては「大学からの情報・支援システム」をあげる者が最も多い（五七二名）。  
 ・具体的には、専門科目の指導教員による指導・アドバイスだけでなく、就職担当部門や留学生担当部門の職員や教員による指導を望む回答が多い。また、就職課の資料

している」（二二三名）をおさえ、「仕事の成果が正当に評価される」（二七二名）が一位（二七二名）。  
 ・「仕事面」では、「専門知識や技術が身につく」（二二八名）「専門知識や経験が活かせる」（二二七名）が際立ち、日本人学生の場合には上位に来ることの多い「やりたい仕事ができる」（一七八名）「責任ある仕事ができる」（一三九名）を大きく上回る。  
 また「人脈が広がる」（二三九名）「出身国で働ける」（二五九名）など将来の帰国を意識した回答も多い。

③「外国人留学生就職支援ガイダンス」への期待  
 ～平成一六年二月四日（土）開催～  
 本コンソーシアムが開催を予定している留学生向けの就職ガイダンスへの参加希望は、「参加したい」（三三二名―四九・八％）「内容によっては参加したい」（二六三名―四〇・六％）と回答者の九〇％にのぼり、当面は進学予定の者を含めて非常に関心が高い。  
 最後に、就職活動に関する意見・要望等を自由記載として取りまとめた結果、多くの留学生は日本人と一緒にではない留学生向けの具体的な就職情報の提供を希望している。

やホームページの留学生向け情報の充実を求める声も強い。自由記述欄への記入内容にも、同様に留学生向けの具体的な就職情報の提供を希望する者が多い。  
 ・企業や人材紹介会社等に対する要望は、企業のホームページ上やweb上の情報提供に加え、企業の留学生採用情報や説明会の実施、人材紹介会社等の情報誌や就職イベントの充実など、就職活動の効率向上につながる対応を望む者が多い。

(4) 大学からの情報・支援システムへの期待（自由記載）

留学生向けの具体的な就職情報	125
留学生に対する就職指導・アドバイス	22
留学生に対する就職支援体制	20
留学生向けに企業説明会・企業見学会	16
留学生向けの就職ガイダンス	11
留学生に対する就職相談	6
その他	23
合計	223

(5) ①就職ガイダンスへの参加希望

参加したい	322
内容によっては参加したい	263
参加しない	18
分からない	25
無回答	19
合計	647

(5) ②出身国等別就職ガイダンスへの参加希望集計表

出身国等	参加希望	参加したい	内容によっては参加したい	参加しない	分からない	無回答	合計
中華人民共和国	260	196	16	18	12	502	
大韓民国	19	27	1	1	0	48	
台湾	11	8	0	1	1	21	
アメリカ合衆国	0	0	0	0	1	1	
マレーシア	3	9	0	1	0	13	
インドネシア共和国	5	2	0	0	0	7	
ベトナム社会主義共和国	4	4	0	1	1	10	
タイ王国	0	3	1	0	0	4	
バングラデシュ人民共和国	4	1	0	1	1	7	
ミャンマー連邦	5	2	0	0	0	7	
その他	11	11	0	2	3	27	
合計	322	263	18	25	19	647	

(6) 就職ガイダンスで聞きたい内容  
 (6) ①日本での就職活動に関する基本的な知識・ノウハウ集計表（複数回答可）

業界・企業の研究方法	214
職種・仕事の研究方法	231
自己分析の方法	272
雇用慣行・就職時の留意点	368
サイトの利用方法	174
公的機関の利用方法	140
就職活動のスケジュール	129
資料請求・エントリーの方法	210
書類・エントリーシートの書き方	259
面接対策	444
筆記試験・適性検査対策	338
採用判断の基準・考え方	304
その他	4
無回答	31
合計	3,118

(6) ②外国人留学生向け情報（複数回答可）

求人企業情報	392
留学生に対する企業の考え方	498
先輩の体験	339
その他	4
無回答	33
合計	1,266

(7) 今後に期待する就職支援（複数回答可）

困った時の相談	275
留学生対象の合同企業説明会等	499
企業の情報提供	315
その他	4
無回答	32
合計	1,125

(8) 就職活動に関する意見・要望（自由記載）

留学生向けの具体的な就職情報	39
留学生向けの企業説明会・企業見学会	17
留学生に対する就職支援体制	6
在留資格の緩和	6
留学生に対する就職指導・アドバイス	5
企業の就労に関する情報	5
留学生に対する就職相談	4
留学生向けの就職ガイダンス	3
その他	29
合計	114